

オールセラミックのSet

試適、調整

コンタクトの調整、研磨

試適前の咬合を確認しておく

セメントのトライイン

トライインペーストによる試適 その後、洗浄



患者様に、トライインペーストを入れた状態で
口腔内で見てもらう

修復物のトリートメント

イボクリーンを塗布 塗布後20秒間キープ
水洗、スチーム、乾燥



強アルカリPH13~13.5なので、**口腔内はNG**

モノボンドプラスを塗布 60秒間キープ、乾燥



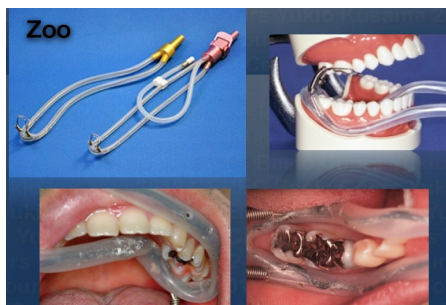
均一な層になるように十分乾燥、弱圧エアードッペンに出すと多めに出るので注意
1歯ならばボトルにポイントを差し込み使用

防湿、スプリッティング、ストリッピング ラバーダムの装着



コンタクトにかかる時は隣在歯もあける
接着時、湿度が大敵（破損や脱離の原因）

または、Zooで防湿



ラバーダム等防湿の徹底化

歯牙の接着面のトリートメント

歯面乾燥 (象牙質へのエアは斜めから)
モノボンドプラスの塗布 (ファイバーコア、メタルコア、CR)
60秒間キープ、乾燥



エナメル質にエッチングするときは、
限局して行う

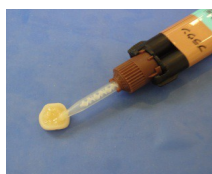
EDプライマー塗布 30秒間キープ、乾燥
(エナメル質、象牙質、シランカップリング処理面)



A,B液1滴ずつ採取、混和
液溜まりが無いように乾燥
エアブローは飛散ないようにバキューム
を併用

セメンテーション 重合

セメントはたっぷりつけ必ずオートミックスで行う。



重合は、1～2分かかる。
(セラミックを透過する際光は減衰するため)
間欠的に余剰セメントを除去。

連続歯の接着は、原則的に1歯ずつ行う。

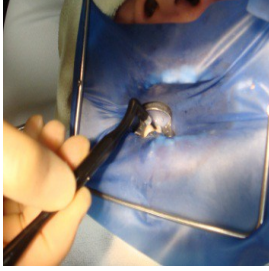
重合中は、エアで冷却
(熱から歯髄を守るため)

余剰セメントの完全除去

半重合させて、餅状になったところで
余剰セメントの大部分を除去する。

筆で余剰セメントを除去すると良い。

硬化後の余剰セメントは、余剰セメント除去バーを使用する。



仕上げ

咬合調整、研磨